



卒業生講話II・第1回チャレンジマッチ

去る5月11日(土)の卒業生講話の続編を紹介します。後半は、去る17日(金)の奥武山で行われたチャレンジマッチの様子をお届けします。チャレンジマッチは、生徒会の「愛」を感じる行事でした。開邦生239名の笑顔のために頑張ってくれた生徒会の皆様に感謝です。「ありがとうございます」

問い、学習塾について (学校通信No4の続き!!)

○塾に身を任せた感覚はない。必要なものだけ受講し、後は自習室として活用した。

○塾に行って、リズムを作る。自分に必要なものだけ受講する。

○塾で必要なものの受講の見極めは、模試の結果をみて自己分析して考える。

問い、親のサポート等で良かったことについて

○毎日の送り迎えと、弁当に感謝です。友達のように何でも話せる関係で、「勉強しているの」等で、怒られたことはない。

○勉強について、「のびのび」させてもらった。必要な参考書もすぐにそろえてもらえて助かった。

○自由放任主義であるが、いつもサポートしてくれた。

問い、開邦での学習で良かったことについて

○それぞれのエキスパートがいて、仲間と教えあえたこと。例えば、「数学は〇〇さんに」等模試や参考書等で疑問に思ったことを教えてもらった。

○仲間と勉強できることがうれしかった。難関校を受験するのは苦しい面もあるが、同じ目標をもつ仲間がたくさんいる。皆で頑張る環境が開邦にはある。

問い、定期テスト前の勉強法について

○国・数・英は2週間前にはできるようにする。寸前は、理・社等の暗記科目を集中して頑張った。

○負けず嫌いなので、しっかり対策する。授業を大切にしながら、テスト前は演習をこれでもかというぐらいやる。(以上です。参考にして下さい)

